

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

梅棹忠夫 略年譜・主要業績

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2012-02-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/4480



梅棹忠夫（1988年5月，館長室にて）

梅棹忠夫 略年譜

- 1920年（大正9年） 6月13日 京都 西陣にて出生.
- 1927年（昭和2年） 京都市立正親尋常小学校 入学.
- 1932年（昭和7年） 京都市立正親尋常小学校第5学年 修了.
京都府立京都第一中学校 入学.
- 1936年（昭和11年） 京都府立京都第一中学校第4学年 修了.
第三高等学校理科甲類 入学.
- 1941年（昭和16年） 第三高等学校 卒業. 京都帝国大学理学部 入学.
- 1943年（昭和18年） 京都帝国大学理学部 卒業. 同大学院 入学.
- 1944年（昭和19年） 財団法人蒙古善隣協会西北研究所（張家口）嘱託.
- 1949年（昭和24年） 大阪市立大学助教授（理工学部）.
- 1961年（昭和36年） 京都大学理学博士号授与.
文部省国語審議会委員（第6期）.
- 1965年（昭和40年） 京都大学助教授（人文科学研究所）.
- 1967年（昭和42年） 文部省大学設置審議会専門委員.
- 1968年（昭和43年） 国立民族学研究博物館設立促進委員会委員（日本民族学会）.
- 1969年（昭和44年） 京都大学教授（人文科学研究所）.
文部省学術審議会専門委員.
日本学術会議人類学・民族学研究連絡委員会委員.
- 1970年（昭和45年） 日本万国博覧会跡地利用懇談会委員.
- 1972年（昭和47年） 文部省中央教育審議会委員.
- 1973年（昭和48年） 国立民族学研究博物館（仮称）創設準備室長.
内閣府経済審議会臨時委員.
- 1974年（昭和49年） 国立民族学博物館長.
文部省学術審議会委員.
文部省学術国際局科学官.
- 1975年（昭和50年） 文部省国語審議会委員（第12期）.
- 1981年（昭和56年） 文部省日本ユネスコ国内委員会委員.

- 1982 年（昭和 57 年） 通商産業省産業構造審議会委員.
日本展示学会会長.
文部省学術審議会委員.
- 1983 年（昭和 58 年） 内閣府科学技術会議専門委員.
財団法人千里文化財団会長.
- 1985 年（昭和 60 年） 日本中東学会会長.
- 1986 年（昭和 61 年） 第 1 回大同生命地域研究賞.
- 1987 年（昭和 62 年） フランス共和国パルム・アカデミック勲章, コマンドゥール章.
- 1988 年（昭和 63 年） 朝日賞.
紫綬褒章.
- 1990 年（平成 2 年） 国際交流基金賞.
- 1991 年（平成 3 年） 文化功労者.
- 1993 年（平成 5 年） 国立民族学博物館顧問.
同館名誉教授.
総合研究大学院大学名誉教授.
- 1994 年（平成 6 年） 文化勲章.
- 1996 年（平成 8 年） 京都大学名誉教授.
- 1999 年（平成 11 年） 勲一等瑞宝章.
- 2010 年（平成 22 年） 7 月 3 日 大阪 千里にて逝去, 享年 90 歳.

梅棹忠夫 主要業績

- 1956 『モゴール族探検記』 東京：岩波書店.
1960 『日本探検』 東京：中央公論社.
1964 『東南アジア紀行』 東京：中央公論社.
1965 『サバンナの記録』 大阪：朝日新聞社.
1967 『文明の生態史観』 東京：中央公論社.
1969 『知的生産の技術』 東京：岩波書店.
1974 『地球時代の日本人』 東京：中央公論社.
1975 『民族学博物館』 東京：講談社.
1976 『狩猟と遊牧の世界』 東京：講談社.
1980 『人類学周遊』 東京：筑摩書房.
1981 『わたしの生きがい論』 東京：講談社.
1981 『美意識と神さま』 東京：中央公論社.
1983 *Le Japon à l'ère Planétaire*. Paris: Publications Orientalistes de France.
1984 *Il Giappone Nell'era Planetaria*. Milano: Spirali Edizioni.
1986 『日本とは何か——近代日本文明の形成と発展』 東京：日本放送出版協会.
1987 『梅棹忠夫の京都案内』 東京：角川書店.
1987 『京都の精神』 東京：角川書店.
1987 『博物館長の十年』 東京：平凡社.
1987 『日本三都論——東京・大阪・京都』 東京：角川書店.
1987 『メディアとしての博物館』 東京：平凡社.
1987 『あすの日本語のために』 東京：くもん出版.
1988 『日本語と日本文明』 東京：くもん出版.
1988 『情報の文明学』 東京：中央公論社.
1988 『日本語と事務革命』 東京：くもん出版.
1988 『女と文明』 東京：中央公論社.
1989 『情報論ノート——編集・展示・デザイン……』 東京：中央公論社.
1989 『情報の家政学』 東京：ドメス出版.
1989 『研究経営論』 東京：岩波書店.
1989 『21世紀の人類像をさぐる』 東京：講談社.

- 1989 『日本学周遊』 東京：筑摩書房
- 1989～1994 『梅棹忠夫著作集』（全22巻 別巻1） 東京：中央公論社.
- 1989 『夜はまだあけぬか』 東京：講談社.
- 1990 『情報管理論』 東京：岩波書店.
- 1990 『千里ぐらし』 東京：講談社.
- 1991 『回想のモンゴル』 東京：中央公論社.
- 1992 『実戦・世界言語紀行』 東京：岩波書店.
- 1992 『裏がえしの自伝』 東京：講談社.
- 1997 『行為と妄想—わたしの履歴書』 東京：日本経済新聞社.
- 1997 『世界史とわたし—文明を旅する』 東京：日本放送出版協会.
- 2000 『近代世界における日本文明—比較文明学序説』 東京：中央公論新社.
- 2001 『文明の生態史観はいま』 梅棹忠夫編， 東京：中央公論新社.
- 2003 *An Ecological View of History: Japanese Civilization in the World Context.* Melbourne: Trans Pacific Press.
- 2004 『日本語の将来—ローマ字表記で国際化を』 梅棹忠夫編， 東京：日本放送出版協会.
- 2009 『梅棹忠夫著作目録（1934–2008）』 梅棹忠夫・及川昭文・松原正毅編， 大阪：国立民族学博物館.
- 2009 『山をたのしむ』 東京：山と溪谷社.
- 2010 『梅棹忠夫 語る』（聞き手 小山修三） 東京：日本経済新聞出版社.